



# 学校通信

令和4年4月6日  
東京都立葛飾盲学校長  
岩下 桂郎  
(第1号)

## 新年度を迎えて

校長 岩下 桂郎

観測史上最も早い開花宣言となった桜も、今は子供たちを励ますかのように力強い新緑の葉に変化してきました。少しずつ季節が変わり、始業式を迎え、静かだった校舎にはたくさんの笑顔と活気あふれる元気な声が響くようになりました。

さて、昨年度60周年を迎えた本校は、未来に向かって新しい一歩を踏み始めました。令和5年度は新入生9名を含む幼稚部5名(2学級)、小学部13名(7学級)、中学部17名(5学級)でスタートします。新入生の皆さん入学おめでとうございます。先輩となる皆さん進級おめでとうございます。

教職員ですが、校長として岩下桂郎、副校長として近藤美紀、経営企画室長として熊谷教昭が着任しました。別に一覧でお知らせしましたように、学部や寄宿舎等にも人事異動があり新しい教職員を迎えることとなりました。たくさんのよい出会いがあり、より多くの人と関わることで幼児・児童・生徒のみなさんにはコミュニケーションの力をつけていってほしいと願います。

この3年間はコロナ渦のため、様々な制限のなかで教育活動を進めざるを得ませんでした。まだまだ基本的な感染症対策は必要ですが、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行することなどから、少しずつ制限を緩和し、行事などの取組も通常に戻すことができるよう計画しています。本格的なwithコロナ時代として、子供たちの安全を第一にしながら、充実した学習内容となるよう工夫していきます。

今年度も引き続き、目指す学校として「自立と自律を目指して～一人一人の可能性を広げ、主体性を高める学校～」を掲げています。また、「人権尊重の理念に基づき、一人一人を大切に温かな教育」の推進を基盤として、「幼児・児童・生徒を確かに育てる」「地域と共に伸びゆく」「教職員の資質向上を図る」ことに向けた様々な取組目標を立て、学校経営を推進してまいります。

子供たちにとって最も身近な支援者でもある保護者の方としっかり連携し、幼児・児童・生徒一人一人の成長を学校全体で支えていきますので、どうぞよろしく願いいたします。

「共にがんばりましょう」 副校長 近藤 美紀

文京盲学校から、4年ぶりに葛飾盲学校へ副校長として戻ってきました。4年前の修了式でお別れした幼児・児童の皆さんが、小学生・中学生となり身体も大きくなり、たくましくなっていたことに驚きと喜びを感じています。岩下校長をはじめ葛飾盲学校全教職員と共に、みなさんの成長を支えてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。